

令和3年度夏

あらかわ俳句吟行会 入選作品発表

俳句のまちあらかわ

俳句に触れてみよう

「あらかわ俳句吟行会」には計93句の投句がありました。

選者 荒川区俳句連盟会長・佐々木忠利氏
ほか

題 夏の季語

慰霊碑を守る古刹や額の花

(荒川・一色由美子さん)

特選

選評 由緒ある古寺の一角に事故や戦争、災害等で亡くなった人、動物の霊を慰めるために建立された慰霊碑を取り囲むように、梅雨空の下で瑞々しく額紫陽花が盛りを迎えている。実景実写にリアル感があり、詩情に富んだ作品。

遠雷の聞こえて雲の落ち着かず

(南千住・内藤春夫さん)

荒梅雨に静かな怒濤隅田川

(荒川・博堂さん)

初恋の賞味期限を薔薇に問ふ

(荒川・鈴木真理子さん)

青嵐閉店告げる手書き文字

(西尾久・木下君穂さん)

目高の子古刹に江戸の手水鉢

(東日暮里・横須賀智子さん)

問合せ

あらかわ俳壇事務局(文化交流推進課内) ☎(3802)3795

第21回 あらかわ俳壇 入選作品発表

「第21回あらかわ俳壇」では計613句の投句がありました。

選者 荒川区俳句連盟会長・佐々木 忠利氏

小中学生の部(計45句)

一般の部(計568句)

入選

特選

あじさいに雨がねるや祖母の庭
(日本女子大学附属豊明小学校4年・水谷柳衣さん)

単衣の老婆蛇腹折りの地図を持ち
(名古屋中学校1年・東野礼豊さん)

徒競走夏への助走ヨイドン
(第四峡田小学校4年・井上慧一さん)

ふりそそぐ光のやりが夏の日に
(第三峡田小学校5年・兼重晴さん)

夏祭りくじ引きあたりおどりだす
(第三峡田小学校5年・鶴澤茜さん)

母の日に感しゃの言葉の花束を
(第三瑞光小学校3年・佐藤円花さん)

選評 大好きなお母さんに感謝を捧げる大切な母の日に、日ごろのお礼を言葉に代えての花束を贈りました。お母さんは成長された作者に心の中では何度も涙でお礼を述べられたでしょう。

母の日に感しゃの言葉の花束を

(第三瑞光小学校3年・佐藤円花さん)

入選

特選

羊腸の山路に匂ふ遅桜
(北区・破れ蓮さん)

路線図を小さく畳み春惜しむ
(練馬区・喜祝音さん)

ふらここに親子の絆しかと抱き
(東尾久・寺田千賀子さん)

明日は売るピアノ弾きたる暮の春
(荒川・田中礼子さん)

目に見えぬ軌を飛ばせ青嵐
(南千住・若林清子さん)

勇邁に風を捉へて巣立つ鳥
(木更津市・安田蝸牛さん)

選評 雀や鶴のような鳥達はふ化後、早い鳥で十日から二週間程で巣立って行く。例え恵まれない環境下にあっても、どんな風であるかと勇氣をもって巣を離れていく鳥たちへの応援のメッセージとも受け取れる。表出に深さを感じる。

勇邁に風を捉へて巣立つ鳥

(木更津市・安田蝸牛さん)

題 春惜しむ・母の日・緑陰・当季雑詠

令和3年度秋

あらかわ俳句吟行会 投句募集

投句条件

- ▶区内を吟行し、俳句を詠むこと
- ▶秋の季語を用いること

対象

区内在住・在勤・在学の方

賞

- ▶特選(1句)
- ▶入選(5句)

※入選者には区内共通お買い物券を差し上げます

選者

荒川区俳句連盟会長・佐々木忠利氏ほか

投句方法

はがき・ファクス・荒川区ホームページで、住所(区内在勤・在学の方は、勤務先・通学先の住所も)・氏名・年齢・電話番号・俳号(ある方のみ)・作品(ふりがな)・作品の背景を記入
※1人5句まで、未発表の作品に限ります
※応募原稿は返却せず、著作権は荒川区に帰属します

締切り

9月25日(土)必着

応募問合せ

〒116-8501(住所不要)荒川区役所3階文化交流推進課文化振興係
「あらかわ俳句吟行会」担当 ☎内線2522 ☎(3802)4769